

メニュー分類	アイコン	コマンド名	コマンド動作
ファイル		表示要素図面作成	現在表示されている要素のみを抽出した図面を作成します。(休眠レイヤの要素を削除した図面を新たに作成します。)
表示		表示色モード	レイヤ/要素/ハイライト表示をボックスにて切替えます。
		空きレイヤ検索	要素が無いレイヤをカレントレイヤにします。
作図		楕円2	傾き角度、長径、短径を入力して楕円を作図します。
		楕円弧2	傾き角度、長径、短径(楕円角度)を入力して楕円弧を作図します。
		Nurbs曲線のオフセット	NURBS曲線に対して、任意の幅でオフセットしたNURBS曲線を作図します。
		楕円3	平行四辺形に内接する楕円を作図します。
		楕円4	平行四辺形に内接する楕円を作図します。
		楕円弧3	平行四辺形に内接する楕円弧を作図します。
		楕円弧4	平行四辺形に内接する楕円弧を作図します。
		グルーピング修正	矩形選択、確定後でも要素の追加・削除可能です。(2019)
		オブジェクトのサイズリセット	貼り付けたオブジェクトサイズを、元のサイズに戻します。
部品		PowerPARTS実行	PowerPARTSを実行します。※現在非対応です。
		EG PARTS実行	EG PARTS(株式会社 ジーネット(http://www.g-net.co.jp/))様提供)を起動します。ご利用PCにEGPARTSがインストールされている必要があります。
ツール		検査寸法表ツール	図面から検査表を自動作成するツールです。※別途有償
		未使用属性最適化	未使用属性を削除し最適化します。
		線端簡易変更	要素の線端を変更します。クリックした側の選択が変更します。
		PDF出力	PDFソフトを別途インストールしている場合に、そちらへ図面を出力します。
エクスポート		距離角度吸着切替	線分作図・移動複写等で利用できる距離・角度吸着機能のON/OFFを切替えます。
		距離角度吸着値切替	距離・角度吸着機能を利用している場合の、距離・角度値のチップ表示のON/OFFを切替えます。
		軸吸着切替	線分作図・移動複写等で利用できる軸吸着のON/OFFを切替えます。
限定表示		限定表示要素選択	限定表示対象にする要素を選択します。
		限定表示終了	動作中の限定表示を終了します。
		限定表示切替A	限定表示と指定した要素を表示状態にします。
		限定表示切替B	限定表示に指定しなかった要素を表示状態にします。
		限定表示状態切替	限定表示を利用する/しないを切替えます。
ウインドウ		ウインドウ再配置	ディスプレイの表示範囲外にあるウインドウを再配置します。
コマンド制御		確定	要素指定を終了するとき、または操作を終了するときを使用します。右クリックのポップアップメニューやEnterキー以外にもアイコンとして割付可能です。
		参照	作図中に線の中点や2要素間の仮想交点等を指定するときを使用します。
		認識設定	グルーピング操作のコマンドにて、属性によって選択をマスキングします。
		指定要素認識設定	指定した要素と同じ認識マスク設定をします。
		幾何認識設定	グルーピング操作のコマンドにて、線の長さ・角度等の幾何情報で選択をマスキングします。
		部品認識設定	グルーピング操作のコマンドにて、部品名・サイズ等で選択をマスキングします。

キーボード用		オペレーションバック	1つ前のオペレーションに戻ります。右クリックのポップアップメニュー以外にも、アイコン配置・キー割付等可能です。
		コマンドキャンセル	コマンド操作をキャンセルします。右クリックのポップアップメニューやEscキーだけではなく、アイコン配置も可能です。
		座標入力	座標入力モード毎にアイコン配置が可能です。
		補助線モード2	モード(表示・認識／表示・非認識／非表示・非認識)を変更します。
		文字表示モード	文字を通常・ベクトル・BOX表示に変更します。
		座標モード 自動/フリー	座標モードを各モード後のアイコンで選択します。
		コマンドマクロ	コマンドマクロを呼び出して実行します。
		閉ループ自動検索	周要素内の任意の点を指定すると、自動的に閉ループを検出します。
		最終要素削除	最後に入力した補助線以外の要素を削除します。
		最終補助線削除	最後に作図した補助線を削除します。
		表示移動 上/下/左/右	表示位置を移動します。
		座標表示切替	座標表示モードを絶対座標表示／相対座標表示と交互に切り換えます。
		グループ認識モード切替	グループ認識の矩形指定／多点指定を交互に切り換えます
		ナビゲーション	ナビゲーション機能のon/off
		認識-矩形の切断on/off	認識設定の矩形切断を切替ます。
		認識-認識範囲変更	グループ認識時、認識範囲を切替ます。
		認識-部分認識on/off	グループ認識時、部分認識する／しないの切り換えを行ないます。
		認識-認識解除on/off	グループ認識時、認識の解除を許可する／しないの切り換えを行ないます。
		認識-子要素認識有効/無効	グループ認識で、集合要素の子要素を単独認識する／しないの切り換えを行ないます。
		座標入力モード 順方向	座標入力モードを変更します。
		全選択	グルーピング機能実行時に、アクティブ図面の要素を全選択します。
		再選択	グルーピング機能実行時に、前回選択した要素を再度選択します。ビュー上の右クリックで表示されるショートカットメニューから実行します。
		各種スタイル切替アイコン	各スタイル毎にアイコンを配置・選択します。
		スタイル切替1-5	任意作成したスタイルにアイコンを割り当て選択します。
		認識マスクリセット	グルーピング機能実行時に、現在の認識マスク設定をリセットします。
		認識-認識設定1-5	認識マスク設定にて、登録した設定を呼び出します。
		重複要素選択onoff	ナビコマンドの重複要素選択コマンドの起動あり／なしの切り換えを行ないます。
		入力拡大ビューonoff	ナビコマンドの入力拡大ビューコマンドの起動あり／なしの切り換えを行ないます。
		レイヤ状態選択	状態登録されたレイヤ状態を表示し、任意の状態に切替できます。 ※キー、ポップアップメニュー、ジェスチャに割り付けしてご利用ください。
		レイヤ状態変更	レイヤ状態を表示し、レイヤの状態変更ができます。 ※キー、ポップアップメニュー、ジェスチャに割り付けしてご利用ください。
		レイヤセット状態変更	レイヤセット状態、レイヤ状態を表示し、即座に状態変更できます。 ※キー、ポップアップメニュー、ジェスチャに割り付けしてご利用ください。
		再選択(ループ)	周要素指定操作実行時に、前回選択した周要素を再度選択します。
		要素属性切替2	現在の要素属性を、指定した要素の属性に変更します。要素属性切替と違いカレントレイヤも指定した要素のレイヤに変更されます。 ※ツールバー、キー、ポップアップメニュー、ジェスチャに割り付けしてご利用ください。
		表示範囲取込設定1-5	

	計測ウインドウクローズ	表示中の計測ウインドウを閉じます。 ※ツールバー、キー、ポップアップメニュー、ジェスチャに割り付けしてご利用ください。
	レイヤ状態切替	レイヤ状態を表示し、レイヤ状態・出力設定などの変更をします。 ※キー、ポップアップメニュー、ジェスチャに割り付けしてご利用ください。
	属性セット切替	設定-要素より文字・寸法文字の属性を作成した設定を切替えます。
	複数行寸法値配置切替	寸法配置時に、複数行の寸法値が寸法線を挟んで上下に配置されるかを切替えます。
	コマンド起動	コマンドに割り付けられた文字列を入力して、コマンドを起動します。文字列は、設定-コマンド定義で割り付けます。